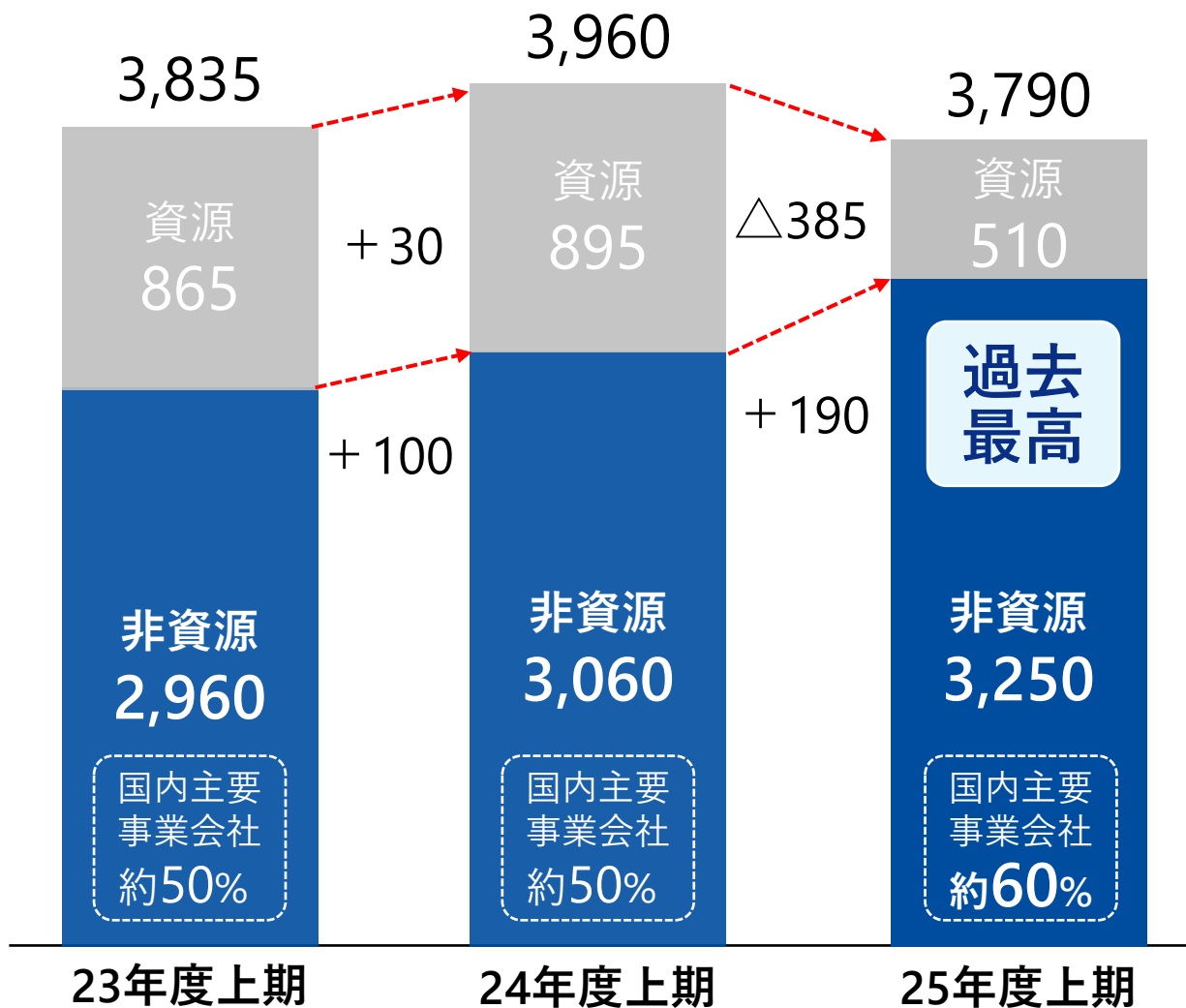


上期基礎収益推移

(単位：億円)



(注1) 合計には、「その他」を含む

(注2) 国内主要事業会社は、年間での取込損益20億円以上(25年度は見通し)の国内事業会社

Copyright © ITOCHU Corporation. All Rights Reserved.

下期の施策

資源分野

- ✓ 豪州原料炭事業のターンアラウンド

非資源分野

- ✓ デサント、CTC、FM等の国内中核事業会社の基礎収益積み上げ
- ✓ 中規模事業会社(利益20～100億円)の着実な育成
- ✓ IFLのターンアラウンド

主要ターンアラウンド案件の状況（豪州原料炭）



地上設備(選炭機等)

	2025年 1月	3月	4月	9月	12月
	A	B	C	D	E
A	2025年1月2日、旧鉱区での終掘完了。深度の影響で高難度の操業となり、当初見込みから約6ヵ月遅延。				
B	2025年3月8日、旧鉱区からの重機移設が完了し、新鉱区の第1エリアにて採掘開始。計画を上回る高進捗。				
C	2025年4月22日に断層に直面。地質状況が悪化し採掘ペースが大幅に低下。				
D	2025年9月9日に断層を通過し、平常ペースで採掘を進め、現在第1エリアの終掘地点に到達。				
E	2025年12月初中旬に新鉱区の第2エリアに重機を移設し、採掘を開始する予定。				

主要ターンアラウンド案件の状況（IFL）

< 原因 >

ロシア・ウクライナ情勢の長期化による
原木価格の急騰・高止まり

中国を中心とした低調な紙需要

< 現況・対策 >

- 原木価格の抑制に向け、フィンランド政府や森林オーナーへの働きかけ等、あらゆる施策を実行。
- 主力のフィンランド/Kemi工場の大規模修繕完了。順調に稼働しており、効率向上による変動費改善。
- 販売面での更なる連携強化に加え、市場ニーズを汲み取り、当社主導で中国を中心としたパルプの販売数量最大化施策の推進。

